



こんにちは、岡田よしひでです

2021年11月14日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.104

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

衆院選の議席数の推移

	2005年	2009年	2012年	2014年	2017年	2021年
自民	296	119	294	291	284	261
公明	31	21	31	35	29	32
共産	9	9	8	21	12	10
維新			54	41	11	41
れいわ					1	3
立憲民主					55	96
希望					50	
民主	113	308	57	73		
新・国民民主						11
社民	7	7	2	2	2	1
国民	4	3	1			
未来			9			
みんな		5	18			
日本	1	1				
大地		1	1			
次世代				2		
生活				2		
無・他	19	6	5	8	21	10
計	480	480	480	475	465	465

野党共闘の力をつけ次のたたかいに

10月31日投票の総選挙は、野党の政策合意、政権協議、選挙協力が実現し、日本共産党が政権に閣外協力することになる歴史的なたたかいでした。

菅政権では総選挙はたたかえないとの危機感のもと、自民党は総裁選を行い岸田氏を選出しました。これをマスコミは毎日、詳しく報道しました。岸田政権は「新しい資本主義」「分配と成長」（途中で逆になった）を掲げ、自民党が変わったとの印象をふりまき、臨時国会は代表質問だけで、予算委員会は開かず国会を閉じ、超短期決戦に

打って出ました。与党にはこれが功を奏したといえます。

他方、事前に野党が伸びるといふ報道もあり、野党共闘に期待してください。この結果にガツカリした方々からは、この結果にガツカリしたという声があります。しかし、定数1を争う選挙では野党がバラバラでは勝てません。結果を分析すると、確信にすべきことも少なくありません。同時に課題もみえてきました。今回は政権交代をめざすスタートです。

今回の選挙では小選挙区の野党統一が前回の57から214選挙区にひろがり、

7割以上の小選挙区で与野党対決の構図がつかれ62の選挙区で野党統一候補が勝利しました。前回は敗れたけれど、今回議席を獲得した選挙区が23あります。さらに敗れたのが得票差が1万票以内の僅差だった選挙区が33もありました。これらは野党共闘の大きな成果です。立憲民主、共産党が議席を減らしたのは比例代表で議席を伸ばせなかったため

です。その中で、れいわは議席を増やしました。政権交代と党の魅力をもっとアピールすることが大事でした。

左上の議席推移表を見ると、2012年に政権を取りもどした自民党は選挙のたびに議席を減らしています。躍進したといわれる維新は、17年に希望にいつていた議席が戻ってきただけです。野党共闘は失敗したという攻撃がされていますが、ためにする攻撃といわなければなりません。

改憲派から一気呵成に改憲をすすめる動きが出てきました。来夏の参議院選挙は重要なたたかいになります。今回の経験をかして、ただちに態勢を整え、平和、暮らしを大切に政治へたたかいをすすめる決意です。

おむすび通信 (104)

私たちの八松自治会では、個人所有になっていた山の登記を自治会所有にきりかえました。観音様の松の木を売ったお金を買った山。法務局で手続きを教えてもらい、必要な書類を作成。関係者にご負担をおかけしましたが、手続き完了で役目が果たせました。